

全東京写真連盟
撮影会写真コンクール
入賞作品集



審査対象 高幡不動尊モデル撮影会

撮影日 2024年11月24日

審査日 2025年01月04日

審査員: HARUKI先生



金賞
「境内にて佇む」
片桐 研一様
モデル 2024年 高幡不動きものクイーン

審査員：HARUKI先生 講評

高幡不動での撮影会は全東京写真連盟所属のモデルさんと、高幡不動きものクイーンのモデルさんも参加しての豪華な顔ぶれで、それぞれの個性が際立っておりまして。こちら金賞作品の被写体は2024年高幡不動きものクイーンさんですが、シンボリックにするためにモデルさんには失礼ながら敢えてお顔が見えない後ろ姿を選びました。青色系の着物の華やかさが不動尊の象徴でもある拝殿周りの金色や朱色、玉ボケの美しい緑とのバランス後ろ姿の佇まいにも凛とした日本女性の素晴らしさを感じる秀逸な1カットとなりました☆



銀賞
「見つけた秋」
小幡 大輔 様
モデル 加藤 季恵

審査員：HARUKI先生 講評

せっかく寺院での撮影会なのに着物姿ではないのが残念なくらい和風な顔立ちのモデルさんなのですが、例えば彼女や家族などと一緒に名所巡りに行った際に記念にパシャリと撮ったといった肩の力を抜いたカジュアルで自然な一コマとなっています。金賞作品の華やかさとは対照的に門の木塀や衣装が茶色やモノトーン系の地味な配色ですが背景の淡い緑色と手に持つ楓のワンポイントの赤や、柱に射し込む木洩れ日があることで“地味”で終わらせない仕上がりになっています。



銅賞
「モダンガール」
逢坂 誠俊 様
モデル 野村 ひとみ

審査員：HARUKI先生 講評

審査時に数多い応募作品を並べた中でも「おっ！」と目を惹かれた異色の1枚でした。後方に見える建物や境内の風景とモデルさんが身に纏った衣装やヘアスタイルとの相性が良くて昭和初期や大正浪漫の香りを感じられる時空と場所がトリップしたようなユニークな作品となっています。オールドレンズのリメイクヴァージョンを使用されての撮影効果は確かに面白い表現となりました。この場所での撮影会へ着てくるコーディネートを選んだモデルさんのアイデア勝ちともいえます☆



入選
「黄色・着物姿」
石川 玲 様
モデル
2024年 高幡不動
準きものクイーン



入選
「和テイスト」
鵜飼 典彦 様
モデル 野村 ひとみ



入選
「優しい光」
小野寺 基之 様
モデル 華陽



入選
「花の影の肖像画」
守屋 久 様
モデル 逢坂 美華



入選
「今日から私は心の旅人」
星野 祐一 様
モデル 華陽



佳作
「手に銀杏」
谷川 朗 様
モデル 野村 ひとみ



佳作
「晩秋の微笑み」
荒井 秀雄 様
モデル
2024年 高幡不動
きものクイーン



佳作
「I can be who I just wanna be」
門間 正之 様
モデル 2024年 高幡不動
きものクイーン



佳作
「斜光と眼光」
松岡 達雄 様
モデル Haru



佳作
「陽ざしの中で」
内藤 勝之 様
モデル 華陽



佳作
「小春日和」
在原 博 様
モデル 逢坂 美華



佳作
「スポットライト」
金澤 義夫 様
モデル 華陽



佳作
「陽だまり」
岸野 孝博 様
モデル 本多 瑠花



佳作
「西日に照らされ」
島崎 俊也 様
モデル 逢坂 美華



佳作
「胸躍る」
矢島 彰 様
モデル
2024年 高幡不動
準きものクイーン



次点
「テンプルヤンキー」
堤 博史 様
モデル Haru



次点
「秋陽のひとつき」
菅原 道久 様
モデル 華陽



次点
「御不動の神様」
高橋 敏之 様
モデル 逢坂 美華



次点
「サウスポー」
河村 徳助 様
モデル 華陽



次点
「光と影のあいだ」
山田 栄一 様
モデル 華陽



次点
「午後の境内」
田沼 靖信 様
モデル
2024年 高幡不動
準きものクイーン



次点
「光と影」
井原 亮祐 様
モデル Haru



次点
「Smile in the autumnal scenery」
亀山 勉 様
モデル 逢坂 美華



次点
「山門燈籠モデル」
米村 充男 様
モデル 華陽



次点
「黄金色の輝きの中」
山本 暎治 様
モデル
2024年 高幡不動
準きものクイーン

【シャープネス】

応募作品のプリントを見ているとコントラストとシャープネスを強調している方が目立ちます。曇天下でのフラットな光線状態で画面全体を引き締めたい時やモデルさんを背景から浮き立たせたいのは理解出来るのですが、特別な意図がある場合を除いてコントラストやシャープネスの使用はあまりお奨め出来ません。一番良くないのは輪郭が際立ってしまい不自然な仕上がりになったり、モデルさんの肌がカリッとなくなってしまいうので出来るだけ必要最小限に留めた方が良いかと思えます。ケースバイケースではありますがトーンカーブで少しだけ引き締めてみるという程度にするのはいかがでしょうか。今回は上位入賞作品の中にも含まれていたのでもっと気になりました。

HARUKI